

日証金 信用取引プライム指数
算出要領

1. 指数の概要

「日証金 信用取引プライム指数」は、信用取引の投資家が買い方向で注目している銘柄で構成されたポートフォリオの動向を示す指数です。

具体的には、(株)東京証券取引所のプライム市場上場銘柄（以下「東証プライム市場上場銘柄」）のうち、制度信用取引買残高（以下「信用取引買残高」）が同売残高（以下「信用取引売残高」）よりも多い銘柄や、銘柄入替の基準日直前に貸借取引融資残高が同貸株残高よりも多くなった銘柄で構成されたポートフォリオのパフォーマンスを示しています。

さらに、短期的で極端な動きに左右されないよう、各銘柄の組み入れ比率や流動性、ポートフォリオの業種比率などに制約を設けているほか、最小分散手法を取り入れることで、リスクを抑えつつも今買い方向で注目されている銘柄の組み入れを実現しています。

2. 名称

日証金 信用取引プライム指数
(略称：日証金プライム指数)

3. 指数の算出

母集団（ユニバース）
東証プライム市場上場銘柄かつ貸借銘柄

4. 銘柄選定方法

以下に従い、組入銘柄およびその比率を決定します。

(1) 信用取引ファクター値の算出

各銘柄について、以下の通り信用取引ファクター値を算出します。

信用取引ファクター値 = 信用倍率スコア×0.9 + 貸借倍率増減率スコア×0.1

信用倍率スコア	基準日の1か月前から基準日までの各週の信用倍率（信用取引買残高÷信用取引売残高）の平均値を点数化したもの
貸借倍率増減率スコア	基準日6～10営業日前における貸借倍率（貸借取引融資残高÷貸借取引貸株残高）の平均値と、基準日～5営業日前における貸借倍率の平均値を比較した増減率を点数化したもの

具体的な計算方法は以下の通りです。

- ① 各銘柄の信用倍率は、基準日の1か月前の応当日から基準日までの各週の信用倍率（信用取引買残高÷信用取引売残高）の平均値とします。各銘柄の貸借倍率増減率は、基準日6～10営業日前における貸借倍率（貸借取引融資残高÷貸借取引貸株残高）の平均値と、基準日～5営業日前における貸借倍率の平均値を比較した増減率とします。
- ② 各銘柄の信用倍率（自然対数）と、各銘柄の貸借倍率増減率について、それぞれ8中央絶対偏差の水準でウィンザライズ（外れ値を特定の最大値もしくは最小値に寄せること）を行います。
- ③ ウィンザライズされた各銘柄の信用倍率と貸借倍率増減率について、標準化を行い、2.5標準偏差の水準でウィンザライズを行います（この値が、信用倍率スコアおよび貸借倍率増減率スコアとなります）。
- ④ 標準化された信用倍率に90%、標準化された貸借倍率増減率に10%のウェイトをつけ、各銘柄で値を合算します。
- ⑤ 合算値について、標準化を行い、2.5標準偏差の水準でウィンザライズを行います。
- ⑥ 各銘柄のこの値が、信用取引ファクター値となります。

(2) 最小分散手法の最適化

ポートフォリオの信用取引ファクター値の極大化を目指しながら、下記の制約条件を満たしつつ、最小分散手法の最適化を実施します。最適化の実施には Axioma Portfolio Optimizer™ を活用します。なお、ポートフォリオの想定金額は100億円としております。

- ① 最大/最小組入比率：1.0%/0.2%
- ② 最大業種ウェイト：25%（GICSの11セクター¹を利用）
- ③ 各銘柄の最大取引額：直近60日取引額の中央値の20%
- ④ 回転率（往復）：50%（四半期入替のため年間200%）
- ⑤ 各銘柄の最大組入額：直近60日取引額の中央値の100%
- ⑥ ポートフォリオ組入銘柄の信用取引ファクター値の加重平均：1以上

※①・②は Hard Constraint、③・④・⑤・⑥は Soft Constraint となります。これらの制約を満たすポートフォリオが構築できなかった場合、⑥から③にかけて順番に制約を緩めて最適化を実施します。

※この最適化の結果、バックテスト期間（2004年5月～2020年3月）における平均組入銘柄数は170銘柄（最大186銘柄、最小148銘柄）となっています。

(3) 基準日

1、4、7、10月において、はじめて2日以上営業日がある週の翌週第2営業日

(4) コーポレートアクションの取り扱い

¹ 1.一般消費財・サービス 2.生活必需品 3.エネルギー 4.金融 5.ヘルスケア 6.資本財・サービス 7.情報技術 8.素材 9.電気通信サービス 10.公益事業 11.不動産

本指数におけるコーポレートアクションの取り扱い、Refinitiv 社の Corporate Action Rulebook に基づきます。

5. 定期入替

四半期に一度、銘柄の定期入替を実施します。

(基準日時点のデータを用いて銘柄選定を行い、原則その 3 営業日後に入替銘柄を公表します。入替の実施は、基準日の 6 営業日後となります。)

6. 算出開始日および基準値

算出開始日は 2020 年 4 月 15 日、基準値は算出開始日の前日終値を 100 としています。

7. 関連指数

以下の 3 指数を提供しております。いずれも円建てとなります。

- ・日証金 信用取引プライム指数 プライス
- ・日証金 信用取引プライム指数 グロス (配当込み、税引前)
- ・日証金 信用取引プライム指数 ネット (配当込み、税引後)

8. 指数値の公表

日証金ウェブサイト (<https://www.taisyaku.jp/jsf-index/>) および Refinitiv 社 EIKON にて、毎営業日終値を公表しています。

日証金ウェブサイトは翌営業日午前 10 時を目途に、Refinitiv 社 EIKON は毎営業日午後 4 時 45 分を目途に更新されます。なお、Refinitiv 社 EIKON における RIC コードは以下の通りです。

日証金 信用取引プライム指数 プライス	.JSFMTPI
日証金 信用取引プライム指数 グロス (配当込み、税引前)	.JSFMTPIIT
日証金 信用取引プライム指数 ネット (配当込み、税引後)	.JSFMTPIN

9. 事務委託先

信用取引ファクター値の算出および最小分散手法の最適化は Qontigo 社に、指数値の算出は Refinitiv 社に、それぞれ委託しております。

10. 利用許諾

日証金 信用取引プライム指数は日証金の知的財産であり、同指数の算出、公表、利用など指数に関するすべての権利は日証金が有しております。このため、日証金 信用取引プライム指数の一部または全部を利用したファンドやリンク債などの金融商品の組成・売り出し、先物やオプションなどの金融派生商品の提供、またはデータ提供など、日証金 信用取引プライム指数の一部または全部を商業的に利用する場合は、日証金との利用許諾に関する契約が必要となります。

以上

改定履歴

改定日	主な改定内容
2022年4月13日	・東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、母集団（ユニバース）を「東証一部上場銘柄かつ貸借銘柄」から「東証プライム市場上場銘柄かつ貸借銘柄」に変更。